



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

Vol.68

April 16, 2003

➤ 国連災害評価調整(UNDAC)チーム養成トレーニングコース開催

アジア防災センターは、2003年3月16日(日)から28日(金)にかけて、国連人道問題調整事務所(UN-OCHA)と共催(内閣府・外務省後援、兵庫県・JICA兵庫国際センター支援)で「国連災害評価調整(UNDAC)チーム養成トレーニングコース」を兵庫県神戸市において実施しました。

UNDACは災害被災国の要請により国連から派遣される防災専門家で、被災国が必要とする国際支援について評価し、被災国での国際援助調整活動を支援する専門家チームです。UNDACチーム要員となるためには、2週間の養成コーストレーニングが義務付けられており、今回のコースは、自然災害の多発するアジア地域における災害対応能力向上のために、アジア・太平洋地域でのUNDAC要員の養成を目的として実施しました。

アジア太平洋地域の14カ国の政府、8つの国際機関から31名の参加のもと、コースでは、防災専門家とOCHAスタッフ相互の経験の議論を通し、チームの任務に直接関連する技術や手法を学びました。



UNDAC Training (Simulation Exercise) at Hyogo Disaster Management Center

具体的には、OCHAの国際支援調整役としての役割及びその組織を理解し、緊急時における活動などについて学ぶ(1)国際的な人道支援の枠組み、UNDACチーム要員として要求される(2)個人技術の訓練・習得、派遣決定から派遣先でのアセスメントの方法からストレスの対処、チームワークなどについて学ぶ(3)UNDAC方法論の三分野に関する技術及び知識の習得のためのトレーニングが実施されました。

(主任研究員 吉村 文章)

➤ ADRC 客員研究員レポート □ ディリ・シワコチ、ネパール

ネパールは、南アジアに位置する小さな内陸国で、インドと中国という二つの人口大国の間に挟まれています。また、ヒマラヤ山岳地帯の中央に横たわり、60mのTeraiから8,848mのエベレスト山まで標高差があります。このような標高差は、洪水や地滑り、山崩れ、土壌浸食といった災害に対する脆弱性を高めています。特にネパールは世界でも最も深刻な洪水多発国です。洪水の規模の大きさは、多大な降水量、高湿度、峻険な分水嶺そして河道によって影響されます。



ネパールの災害対策システムにおいては、災害発生後に多くの資金と労働力をつぎ込みますが、全体としてのシステムは遅れており、あまり優れたものとは言えません。ネパールでは、防災対策や救助・救援、復興・復旧といった災害に伴うさまざまな段階において、諸問題を抱えています。直面している問題の中には、困難な地域計画、不十分なインフラ施設、低い識字率、先端技術に関する知識の欠如、計画的でない住民の定住、人々の参加と協調のなさあげられます。

こうした背景から、ネパールでは過去の経験から学びとり、災害に伴うどの段階においても人々の参画を強く促す必要があります。私の個人的な考えといたしましては、多機能の防災政策モデルの策定がカギとなると思います。そうするためには、国のあらゆる関係者が機動的になり、国際協力を積極的に受け入れるべきであると考えています。

(ネパール内務省防災局局長 ディリ・Pd.・シワコチ)

アジア防災センターからのお知らせ

アジア防災センターは、平成15年4月16日(水)に下記事務所に移転いたしました。

住所 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
ひと未来館5階

電話(代表) (078)262 5540
ファックス (078)262 5546

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)